

1. 計画の概要

本編 P1~2

阿蘇市公共施設等総合管理計画などの関連計画と整合を図りながら、施設の劣化状況を踏まえ、長期的な視点をもって、公共施設の更新・長寿命化を総合的かつ計画的に行うことを目的として策定する計画です。

公共施設等総合管理計画の見直しを2021年度に行うことから、本計画の計画期間も、これに合わせ2021年度から2030年度までの10年間とします。

総合管理計画に掲げる公共建築物のうち、小中学校及び学校給食センターを本計画の対象とします。

対象施設の数量

区分	学校（施設）数	延床面積 (㎡)
小学校	5 施設	26,354
中学校	3 施設	18,588
学校給食センター	2 施設	2,285
計	10 施設	47,227

2. 学校施設の目指すべき姿

本編 P3~4

「学校・家庭・地域社会が一体となり、人間尊重の精神を基底におき、社会の変化に主体的に対応し、恵まれた自然環境や豊富な文化財を生かしながら、心豊かな人間性、社会性を備え、郷土を愛するたくましい子供の育成に努めるとともに、市民が生涯にわたって生きがいと潤いのある生活を営むことができる生涯学習社会の実現を目指す」を教育の基本理念とした阿蘇市教育方針に基づき、施策を実現するための学校施設整備を進めていきます。

阿蘇市教育目標

ふるさとを誇りとし、認め合い、学び合い、励まし合い、未来を拓く活力ある阿蘇市民を育成する

豊かな心と確かな学力の育成

人権教育の充実

体育・健康教育の推進

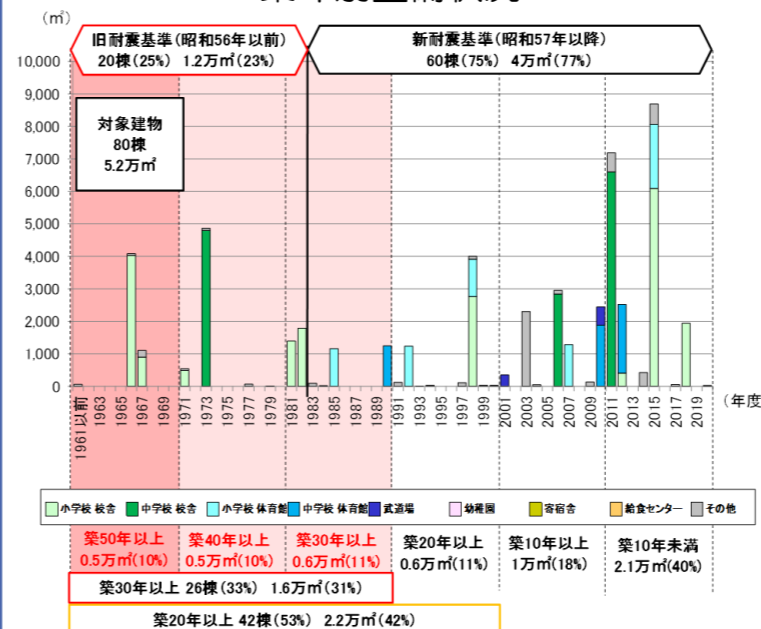
社会教育の推進

3. 対象施設の実態

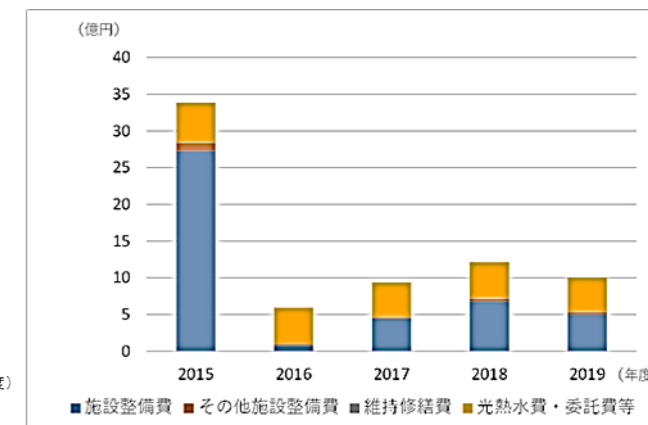
築年別の整備状況をみると、主要棟（校舎、体育館）では「内牧小学校」が最も古く1966年に建設され、築54年が経過しています。2011年と2015年の整備量が多くなっていますが、それぞれ「阿蘇中学校」、「一の宮小学校」の建設に伴うものです。また、1981年（昭和56年）以前の旧耐震基準で整備された建物は全体の23%を占めています。

直近5カ年の学校施設にかかる経費は、平均14.3億円かかっています。2015年度が最も大きく約33.8億円となっていますが、これは「一の宮小学校」建設に伴うものです。施設の維持管理にかかる費用は平均約5億円となっています。

築年別整備状況



施設関連経費の推移



対象施設の劣化状況を、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上、受変電設備、空調設備、昇降機設備、他設備は経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価しました。修繕・改修が必要となるC、D評価は、全体の17%あり、優先的に長寿命化改修等の対策を講じる健全度40点未満の施設は3棟ありました。

対象施設の劣化調査結果

区分	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	割合 (%)
A	23	25	39	38	40	44.0%
B	35	36	26	26	23	38.9%
C	14	11	8	11	12	14.9%
D	3	3	2	0	0	2.1%
合計	75	75	75	75	75	100.0%

健全度40点未満の施設

施設名称	建物名称	健全度
内牧小学校	教室棟	37
波野中学校	プール付属屋	38
波野中学校	教員住宅	20

4. 施設の維持管理に関する方針

本編 P15

以下の6つを今後の基本方針として取り組んでいきます。

長寿命化 <ul style="list-style-type: none">• 予防保全型の管理に転換し、計画的に維持管理を行い、施設の耐用年数を伸ばし、施設の長寿命化を図る。	点検・診断 <ul style="list-style-type: none">• 劣化調査票による点検を継続して行う。• 劣化原因や、改修方法、仕様や更新周期等を把握し、改善する。	安全確保 <ul style="list-style-type: none">• 劣化箇所は、現地状況を確認の上、適正に修繕する。• 危険箇所は、立入禁止等の対応をし、応急処置をする。
維持管理・修繕 <ul style="list-style-type: none">• 点検（日常、定期）や清掃、情報管理を行い、施設に応じた維持、改修内容や時期を実施計画に反映する。	更新 <ul style="list-style-type: none">• 施設の複合化や減築についての検討を行った上で更新する。• 民間活力を活用し、連携を検討する。	ユニバーサルデザイン <ul style="list-style-type: none">• 障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず誰もが利用しやすい施設づくりに取り組む。

5. 長寿命化の基本方針

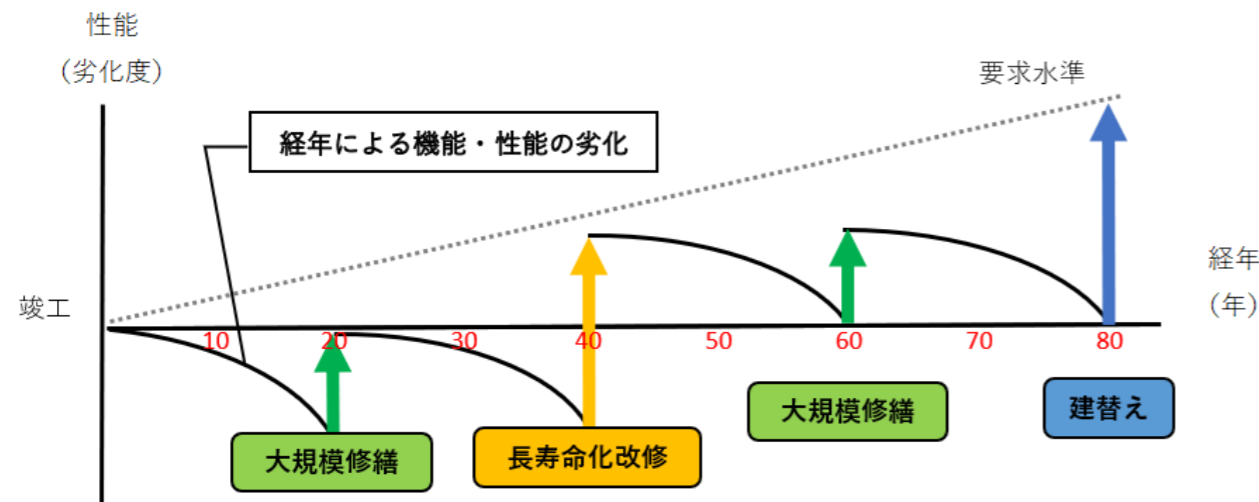
本編 P16~21

(1) 目標耐用年数の設定

鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造の公共建築物の目標耐用年数を、「建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）」を参考に、80年と設定します。鉄骨造の目標耐用年数も適切な保全を前提として、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造と同期間とします。

(2) 改修周期の設定

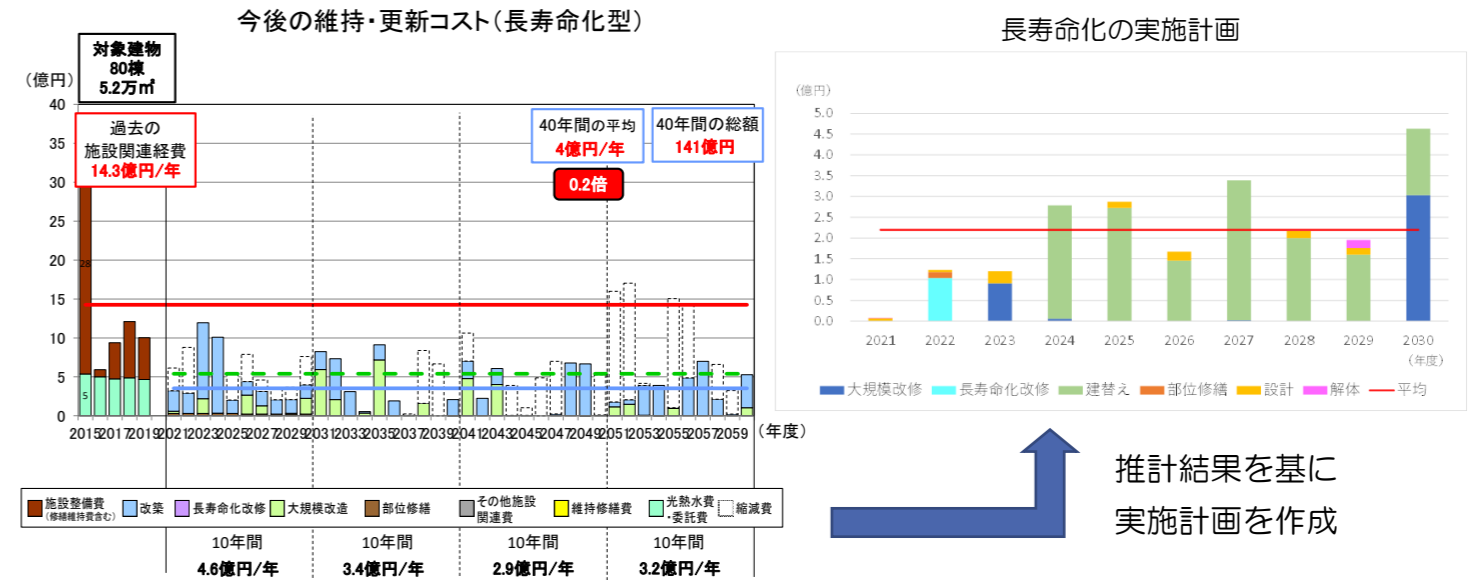
建設後、約20年で機能回復のための大規模修繕を行い、耐用年数の中間期となる約40年で機能向上のための長寿命化改修を行います。その後、約60年で再び大規模修繕を行い、目標耐用年数の約80年で建物の建替えを行います。



6. 長寿命化の実施計画

本編 P22~24

従来の改築中心ではなく、予防保全的に長寿命化対策を行い、建物を80年使用した場合の維持・更新コストを算出しました。長寿命化対策を行った場合、今後40年間の維持・更新コストは約141億円（年平均4億円）となります。



長寿命化型の維持・更新コストの推計結果を踏まえ、計画期間における長寿命化の実施計画を作成しました。10年間の更新費用が年平均2.2億円程度になるように工事時期を調整し、平準化を図っています。

7. 計画のフォローアップ

本編 P25

(1) 情報基盤の整備と活用

施設マネジメントシステムを活用して、施設の基本情報、維持管理運営経費、工事履歴や劣化調査結果等を一元管理していきます。

(2) 推進体制の整備

計画の推進にあたっては、公共施設マネジメント部局を中心とした全庁的な体制で対応を図ります。また、教育委員会と公共施設マネジメント部局が協力し、調査の実施や不具合箇所の早期把握と対応を行っていきます。

(3) フォローアップ

実施計画を進捗管理していくとともに、個別計画ごとの整備内容を検討のうえで、事業を進めていきます。その際、国庫補助等の活用も行いながら、無理のない財政支出計画の下で取り組むこととします。

また、学校規模の適正配置等も注視しながら、総合的な視点をもって、柔軟に実施計画を見直していきます。

阿蘇市学校施設長寿命化計画（概要版）令和3年2月

阿蘇市 教育委員会教育部 教育課

〒869-2695 阿蘇市一の宮町宮地 504 番地 1

TEL : 0967-22-3111 FAX : 0967-22-4577